

<申請時> スタートアップ企業への成長促進事業 2026年4月~2027年3月実施予定 ((公財) くまもと産業支援財団)

<事業計画申請時>

【課題】

TSMCの進出を契機に、熊本県内では半導体関連産業やライフサイエンス関連産業のスタートアップ企業等の誕生が期待されているものの、発掘する機会が少ない。また、例えば資金調達に成功しても、スタートアップ企業には経営層人材や専門的実務者が不足しており、成長フェーズで直面する壁を突破できにくいという課題がある。

【目的】

スタートアップ企業の「発掘・醸成」から「成長加速」までを、財団の持つリソースを最大限に活用して一貫して支援し、熊本から次世代を担う企業を輩出することを目的に、ピッチイベント「二火会」と「文系イノベーションピッチ」の開催、サポーターによる伴走支援等を実施する

【都道府県の施策との連携・親和性】『熊本県半導体推進ビジョン』では「半導体イノベーション・エコシステムの構築」を、『熊本県産業成長ビジョン』では「熊本型イノベーション・エコシステムの構築による新産業の創出」をそれぞれ謳っており、県のベンチャー関連施策と合致する。

✓ 地域課題解決の取組や複数の地域支援機関の相互連携強化等の取組に該当する場合は、チェック ✓ してください。

【本事業の内容】

1 「くまもとベンチャーマーケット『二火会(にかかい)』」の開催

旺盛な事業意欲を持つスタートアップ企業や新分野進出企業が、資金調達や販路拡大、ビジネスパートナーの発掘等を目的としてビジネスプランの発表をするピッチイベントを、年2回開催する。

2 「くまもと文系イノベーションピッチ」の開催

主に文系学部・学科の学生や教員を対象に、文系的視点を活かしたビジネスプランの発表の場を提供。これまで理工系に光が当たりがちだったピッチイベントにおいて、文系知の潜在能力を引き出し、地域や社会課題の解決を起点とした新規事業創出を後押しする。

3 各種専門家によるスタートアップ企業への「サポーター派遣」の実施

当財団の投資先企業もしくは投資候補先企業が抱える、IPO(新規上場)・マーケティング・ブランディング・販路拡大・知財などの専門的な課題に対し、助言能力を持つ専門家(サポーター)を対象企業にピンポイントで派遣して支援を実施し、経営課題の解決を図る。

4 スタートアップ企業向けのセミナーの実施

当財団の投資先企業もしくは投資候補先企業、もしくは二火会登壇企業や当財団接触済みのスタートアップ企業を対象に、資本政策や販路拡大等の成長する際に必ず通過するポイントに関するセミナーを開催し、当該企業のスケールアップ支援を実施する。

当財団投資前サポート(発掘段階)

- ①「二火会」の開催
- ②「文系イノベーションピッチ」の開催

起業前~シード期

当財団投資後サポート(成長段階)

- ③サポーター派遣
- ④セミナー開催

シード期~ミドル期

【結果ならびに成果の目標】

- ・起業家予備軍へのアプローチ及び学生の起業マインド醸成
  - ①二火会開催件数：2回
  - ②二火会登壇者数：9社
  - ③文系ピッチ開催数：1回
  - ④文系ピッチ登壇数：15者
- ・投資先企業の成長確度向上
  - ⑤サポーター派遣数：30件
  - ⑥セミナー開催回数：2回

【波及効果の目標】

本事業実施を通じ、熊本のベンチャー企業を取り巻く環境の改善を進め、ベンチャー企業が発生しやすく、成長しやすい土壌づくりを図る。またベンチャー企業と県内企業とのコラボレーション等を促進し、域内経済活動の更なる活性化を図る。

【将来の支援目標】

「発掘(二火会、文系ピッチ)」で得た新たな知見や人材と、「育成(サポーター派遣等)」で培った経営ノウハウを循環させることで、長期的視点に立ち、熊本県内における自律的かつ持続的なスタートアップ・エコシステムの構築を目指す。